

揺れやすさマップ

「揺れやすさマップ」は、印西市直下の浅い位置でMw6.8の地震が発生した場合の震度分布を表したもので、想定しうる最大の地震動を想定しています。予測される地震の強さ（震度）は、市全域で震度6弱から7となり、印西市において大きな被害を与えるおそれがあります。

震度とは地震による揺れの程度を表す指標です。地震そのものの大きさ（規模）を示すマグニチュードとは異なります。

地震の規模や震源の位置が異なれば、揺れやすさマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。

令和4年3月更新

想定地震



揺れやすさとは

揺れの大きさは、下記の二つによって変わります。

震源からの距離

震源から地表付近までの距離が近いほど揺れは大きくなる傾向があります。

地盤の硬さ

硬い地盤では揺れにくく、軟らかい地盤では揺れやすい傾向があります。

弱い ← 揺れの強さ → 強い

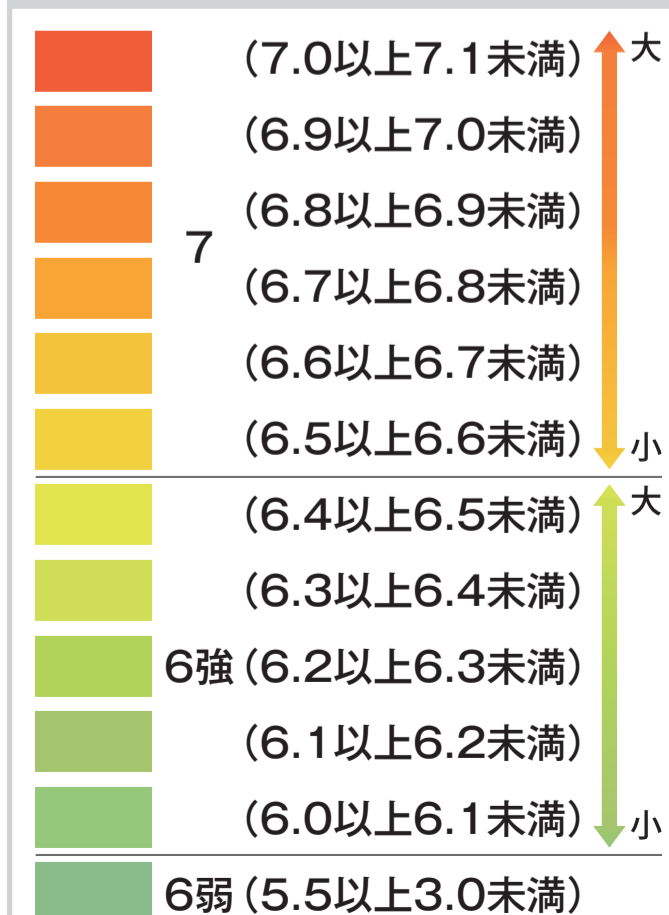
ガタガタと小さく揺れる ← 揺れの間隔 → ユッサユッサと大きく揺れる



震度階級

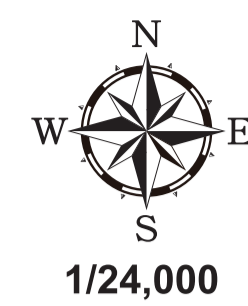
震度階級	人間の感覚	屋内の状況 / 屋外の状況 / 建物の状況
7	◆ 立っていることができず、はわないと動くことができな	屋内 ◆ 固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。 屋外 ◆ 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。 建物 ◆ 耐震性の低い木造建物では、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。
6強	◆ 揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	屋内 ◆ 固定していない家具のほとんどが移動する。倒れるものも多くなる。 屋外 ◆ 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。 建物 ◆ 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。
6弱	◆ 立っていることが困難になる。	屋内 ◆ 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ◆ ドアが開かなくなることがある。 屋外 ◆ 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 建物 ◆ 耐震性の低い木造建物は、建物が傾いたりすることがある。

震度階級 (計測震度)

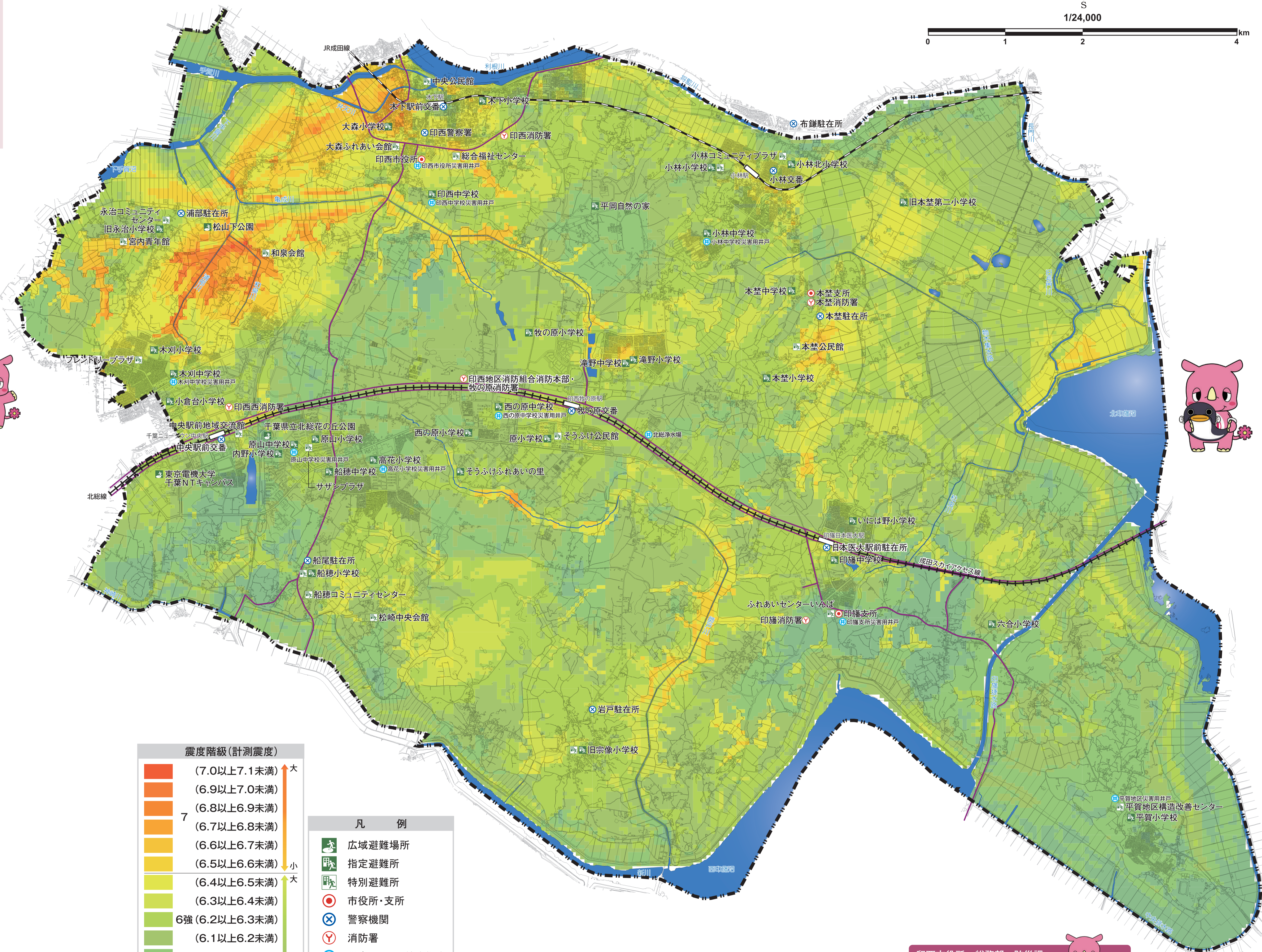


凡例

- 広域避難場所
- 指定避難所
- 特別避難所
- 市役所・支所
- 警察機関
- 消防署
- 災害用井戸・給水拠点
- 県緊急輸送路



1/24,000



印西市役所 総務部 防災課
千葉県印西市大森2364-2
電話 0476-42-5111

